

情報セキュリティ基本方針

「人」と「信頼」に重きをおき、顧客志向のマインドを共有して、企業価値の向上のサポートをワンストップで実施してまいります。

クラウドサービスの市場拡大などIT業界は変化を続けており、以前にも増して、情報セキュリティに関する社会的要求は強くなっています。
当社はシステム開発だけでなく、クラウドサービスの企画、販売、開発、運用なども行っており、情報セキュリティはますます重要なものとなっています。
その認識のもと、以下のように「情報セキュリティ基本方針」を策定します。

当社は「情報セキュリティ基本方針」を遵守し、情報セキュリティ等の管理体制を維持していくことに努めます。

1. ISMS構築の目的

ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の構築、運用及び継続的改善により、お客様からお預かりする資産を含む、当社の資産を確実に保護します。
そのために、社会からの信頼を得られるよう、ISO/IEC27001:2022(JIS Q 27001:2023)に準拠したISMSを構築、運用し、さらに継続的改善を図ります。

2. 情報セキュリティ目的の設定

情報セキュリティに関して、着実にステップアップできるよう、事業年度に併せて情報セキュリティ目的（目標）を設定します。
情報セキュリティ目的（目標）を達成するため、全社一丸となって課題に取り組みます。

3. クラウドサービスの特異性の認識

クラウドサービスに関連し、お客様の重要な資産をお預かりする可能性があることを認識します。
また、クラウドサービスの利用及び提供に関連し、お客様の資産へのアクセスは厳重に管理します。

4. 法令遵守

当社の事業に関連する法令、規範、社会やお客様等利害関係者の要求を遵守します。
そのために、情報セキュリティに関する規定やルールを策定し、関係者に周知します。
また、規定、ルールの違反を発見した場合、規定に則った処置を講じます。

5. 監査体制

ISMSの有効性、規定やルールが遵守されていることを確認し、改善すべき点の洗い出しを目的として、定期的に内部監査を実施します。

6. 教育・訓練

情報セキュリティに対して正しい知識、認識、態度を持って業務を遂行できるよう、当社の取締役、社員に対して定期的に教育・訓練を実施します。
また、お客様の資産及び当社の資産へのアクセスの可能性次第で委託先社員に対しても、同様の教育・訓練を実施します。

以上

2024年3月1日
ビーアイピー株式会社
代表取締役社長 齊藤 喬